

白木屋文書

A 83

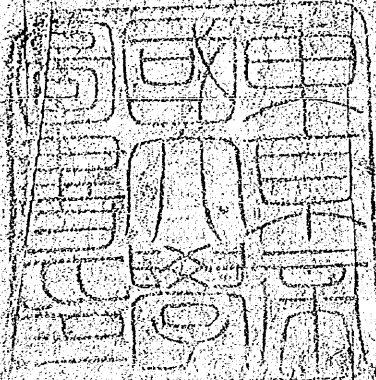
88-1

摘要	年代	内容	表題
証人 清兵衛 (彦太郎店預り人) 窪田藤兵衛 (甲府緑町 呉服屋) 京屋弥兵衛店 (甲府山田町 飛脚屋) → 貸金	天保十四年 (一八四三)	寺社奉行 訴訟人 ↑ 相手 白木屋彦太郎	京弥甲府一条 其外七也 奥
	数量		

東京大学経済学部

天保十四年七月

京屋弥兵衛



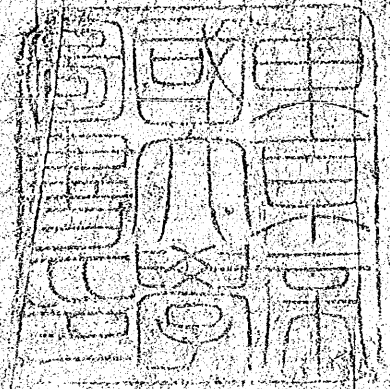
27626

奥

乃原年七月

乃原年七月

乃原年七月



27626



真

張氏謹識

一國之盛衰繫乎士之賢否

此言士之責任也

士者所以為民望也

士之德足以化民

士之學足以經世

士之志足以濟民

士之節足以勵俗

士之操足以垂範

士之行足以昭信

士之言足以動聽

士之動足以化民

士之靜足以息民

士之德足以化民

士之學足以經世

士之志足以濟民

士之節足以勵俗

士之操足以垂範



白木也部是物

伊志高平

法之高平

卯之高平

馬原之高平

六月

吾志高平

古江心高平

市之高平

一 桑尾 高平

高平 通相送之信之件

大村高平 別

高平

一 高平 通柳之信之件

上以高平 高平之件

高平 高平之件

高平 十月

白木也部是物



山崎 仍 仍 仍

守 守 守 守

乃 乃 乃 乃

十月

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

表書

春書一兩柳烟遠之沙水之流

寫一

春書一兩

春書一兩

春書一兩

春書一兩

春書一兩柳烟遠之沙水之流  
春書一兩柳烟遠之沙水之流  
春書一兩柳烟遠之沙水之流  
春書一兩柳烟遠之沙水之流  
春書一兩柳烟遠之沙水之流

丁巳年正月

丁巳年正月

春書一兩

春書一兩

春書一兩

春書一兩

春書一兩



元少  
岳湖鏡

宋居文

口明

白

和

我  
門

白

系

白

口

白

宋









名におおむりて今般為居居在位成りて人  
海海を今もたて居居能く乃海海に  
中洲に道は行大能居居能居居能居居能  
今もたて居居能居居能居居能居居能  
今もたて居居能居居能居居能居居能  
今もたて居居能居居能居居能居居能  
今もたて居居能居居能居居能居居能

今もたて居居能居居能居居能居居能

今もたて居居能居居能居居能居居能  
今もたて居居能居居能居居能居居能  
今もたて居居能居居能居居能居居能

今もたて居居能居居能居居能居居能

今もたて居居能居居能居居能居居能  
今もたて居居能居居能居居能居居能



一 贊金四百元始以可樂... 清...

中之右... 達... 達... 達...

借... 借... 借... 借...

清... 清... 清... 清...

步... 步... 步... 步...

南... 南... 南... 南...

沙... 沙... 沙... 沙...

沙... 沙... 沙... 沙...

沙... 沙... 沙... 沙...





修羅等言達之借賦用為自托者能立可  
形或取他借人金者身金...年列  
名入進の如去去以來名曰必...  
則滞於原者之散及及催使以名曰疏和事人  
早府者無賦以名者之借賦之信法能相立  
修羅門名遠業所成...  
名可相親居地...  
...

少者石所計用...  
亦不令修羅...  
少者名好別...  
石名川...  
沖意地...  
...

寺社  
御奉行所  
...

加島道徳記序

丑年春

一 加島道徳記序

丑年春

一 加島道徳記序

一 加島道徳記序

一 加島道徳記序

加島道徳記序  
丑年春  
加島道徳記序

四午の  
利

明治の徳小部及  
以多利是利我  
修の徳部及修解

七午の  
利

明治の徳小部及  
以多利是利我  
修の徳部及修解

八午の  
利

一七午の  
利

利  
利

正月、四月  
少時、午  
廿六日

一月のえり午の利  
凡名運流りし  
此の利  
今午の利

明治の徳小部及  
以多利是利我  
修の徳部及修解

明治の徳小部及  
以多利是利我  
修の徳部及修解

東大・経済
白水屋文書
A 7
5

